



秋の収穫に感謝「豊祭(ほぜ)」

■10月28日に南方神社、29日に妙見神社で行われ、山下・水流太鼓踊り、東鹿籠太鼓踊り、山口棒踊りが奉納されました。(写真は東鹿籠太鼓踊り・妙見神社)



絵本の世界を楽しむ

■11月6日、ブックドクターあきひろ氏による子育て講演会が市立図書館で行われました。参加した30人はあきひろ氏の話聞き、絵本を活用した子育てについて理解を深めました。



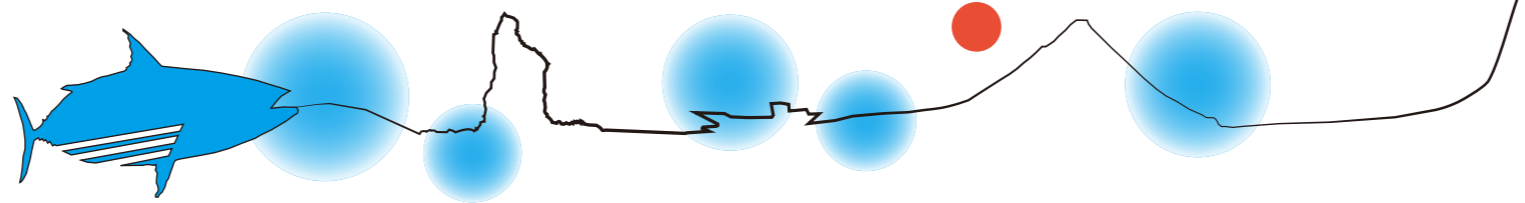
市町村による青少年劇場

■11月11日、立神小学校で行われました。立神小、金山小の児童約300人が、人形劇団ひとみ座による人形劇「大どろぼうホツエンプロット」を鑑賞しました。



地域が育む「かしまの教育」県民週間

■11月1日～7日の期間に合わせて、市内小中学校ではさまざまな取り組みが行われ、一般公開されました。8日には金山小学校で枕崎市茶業青年の会を講師に迎え、お茶の淹れ方教室が行われました。



第60回関東枕崎会総会を開催

投稿

～投稿者：関東枕崎会

10月13日、節目となる第60回関東枕崎会総会が230人の参加者のもと盛大に開催されました。

会場では、ナツメグをはじめとする枕崎出身のパフォーマーの方々に盛り上げていただき、5月に引退された第36代立行司木村庄之助こと山崎敏廣さんも装束衣装で参加し、花を添えました。また、年代を超えての思いがけない再会や新しい出会いがたくさんありました。

来年も新たなサプライズを期待し、故郷の枕崎弁の飛び交う中、時間の経つのも忘れ懐かしく楽しいひと時を過ごしました。そして皆が来年の再会を約束し、散会しました。



男女共同参画の視点から中国文化を学ぶ

～自分づくり・国際理解講座

10月25日、自分づくり・国際理解講座が城山センターで開催され、18人が受講しました。鹿児島県国際交流員で中国江蘇省出身の路海静さんを講師に迎え、男女共同参画の視点からみる中国の文化を学びました。調理実習では餃子の皮づくりに挑戦し、受講者は苦労しながらも本場の味を再現しました。

また、「中国における女性の結婚観」と題した講演では、昔は女性の地位が低かった中国も今は男女平等の社会になり、自分の能力を生かして独立できるようになったため、結婚をしない女性が増えていることなど、中国の現状について話しました。



四季の星空を楽しもう

～枕崎地区公民館講座

生涯学習短期公民館講座「身近な星空を楽しもう講座」が枕崎地区公民館で開催されました。

7月19日から11月8日の間に5回に分けて開催されたこの講座は、旧枕崎空港に設置が予定されている枕崎天文台台長の西井上剛資さんを講師に迎え、春・夏・秋・冬それぞれの季節に見える星空について学びました。受講者25名は、座学で星空の基礎知識を学んだ後、夜空を見上げながら説明をうけたり、望遠鏡で星を観察したりし、実際に星空を目にすることでさらに知識を深めました。受講生の岸田達也さんは「望遠鏡を覗くと土星がとてもきれいに見えたと、天体と人との関係性についての話がとても印象に残りました」と話していました。



100歳おめでとうございます

～俵積田茂夫さん(別府西町)

俵積田茂夫さんが11月19日、めでたく100歳の誕生日を迎えられ、2日に市と市社会福祉協議会から花束と祝い金が贈られ、同日はご親族による100歳のお祝い会も開催されました。

俵積田さんは、市議会議員を5期20年務められ、長年、枕崎の市政に貢献されてきました。

長寿の秘訣は、散歩が好きでよく歩いていたことと趣味の書き物をしていただことだそうで、以前は俳句や短歌をよく新聞などに投稿していたそうです。

これからも、元気で長生きしてください。



カツオ博士目指し77人が挑戦

～第3回枕崎カツオマイスター検定

カツオやかつお節についての正しい知識を身に付け、カツオの伝道師となってもらうことを目的にした、第3回枕崎カツオマイスター検定が11月2日から2日間にわたり行われ、全国から77人が受検しました。

受検者は、かつお節工場の見学やカツオの3枚おろし、昆布とかつお節の出汁の取り方などに挑戦したほか、座学ではカツオの生体や漁法についてなど幅広く学び、検定に臨みました。



美しい歌声で会場を魅了

～柳田孝子抒情歌コンサートin枕崎

長崎県佐世保市出身で、現在はカナダのトロントを拠点に活動しているオペラ・ソプラノ歌手の柳田孝子さんによる抒情歌コンサートが10月27日、市民会館で開催されました。

抒情歌やオペラなど計22曲が演奏され、ピアノ伴奏の寺園玲子さんとの息の合ったハーモニーに、約600人の来場者は魅了され、心癒されるひと時を過ごしました。